

『題材名 カリンバの制作』

学校名 土佐中・高等学校

教員名 山下多可子・堀内理砂

学校紹介

本校は男女共学・中高一貫の私立学校である。創立91周年を迎え、一昨年免震・耐震を備えた新校舎が建て替えられたばかりである。中学校773名、高校924名計1697名の生徒が報恩感謝の理念のもと、文武両道を目指して勉学にスポーツ・文化活動に励み、ほぼ全員が県内外の大学への進学を希望している。医学部への進学も多い。

対象学年：2年生 50名×2クラス（1クラスの人数が多いため、教員二人体制で指導している）

所要時間：12時間（週2時間）



《実際のカリンバ》

《装飾例》

コンセプト、題材設定の理由：世界に一つしかない楽器を創る

カリンバは、アフリカの民族が、祭りごとなどの時に演奏する楽器である。四角い箱の上に金属のキイがV字型に並んだもので、両手で持ち親指でキイを弾いて音を出す仕組みになっている。世界にひとつだけの楽器を創るという楽しい作業であり、木工・金工・デザインと、いろんな分野が総合的に経験できるということで設定した。なお、導入の時には本校の卒業生に演奏会、手作り楽器の紹介などをしてもらったりすることで、アフリカの文化、楽器のルーツに触れる授業にもなっている。（下記の写真 東京在住のカリンバ演奏家ハヤシエリカさん、卒業生北村剛さん）

準備するもの：材料 シナベニヤ(5.5mm) コンパネ(14mm) ピアノ線、アルミLアングル、ヒートン、アクリル絵具

道具 のこぎり、やすり、金づち、木工用ボンド、釘、サンドペーパー

機械 電動糸のこ、ベルトサンダー

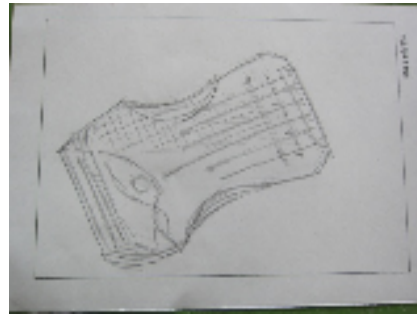
《演奏会》



手順

1. 導入

説明をし、参考作品を見せ
アイデアスケッチをする



《スケッチ》

2. 楽器演奏とお話

本校卒業生北村さんに来て頂き、
カリンバ演奏を聴く

(また手作り楽器の説明や演奏も聴く)

チェンバロ、口琴など

3. 木箱の制作 (木工)

デザインを決め、製図を描く
シナベニヤ、コンパネに木取りする
のこぎり、電動糸のこで切断し、切り口を削る
箱を組み立てる
サンドペーパーで磨き、仕上げる



《切断》

4. 木箱の装飾 (絵画・デザイン・彫刻など)

箱に装飾を施す

- 下書きをし、アクリル絵具でぬる
- 彫刻する
- ガスバーナーで焼く
- コラージュする

など、思い思いに箱を装飾する



《ベルトサンダーで削る》

5. 音を出す金属部分の形成 (金工)

ピアノ線でキイを作成する
(レール床の上で金槌で叩き、先を平らにする)
アルミ L アングルを切断する
部品を取り付ける



《ピアノ線をレール床の上で叩く》

6. 完成



まとめ

演奏会を行う事で生徒たちのイメージがふくらみ、ユニークな作品ができた。生徒たちも楽しんでくれたようだ。ただ、楽器ということを考えれば、作品が完成した時点で、少し演奏をしてみるなどの試みがあっても良いかもしれない。